

軽量盛土工法技術ノート(No.2)

【軽量盛土工法の湿潤密度】

軽量盛土材において最も重要な特性である湿潤密度の分布を図-1に示す。

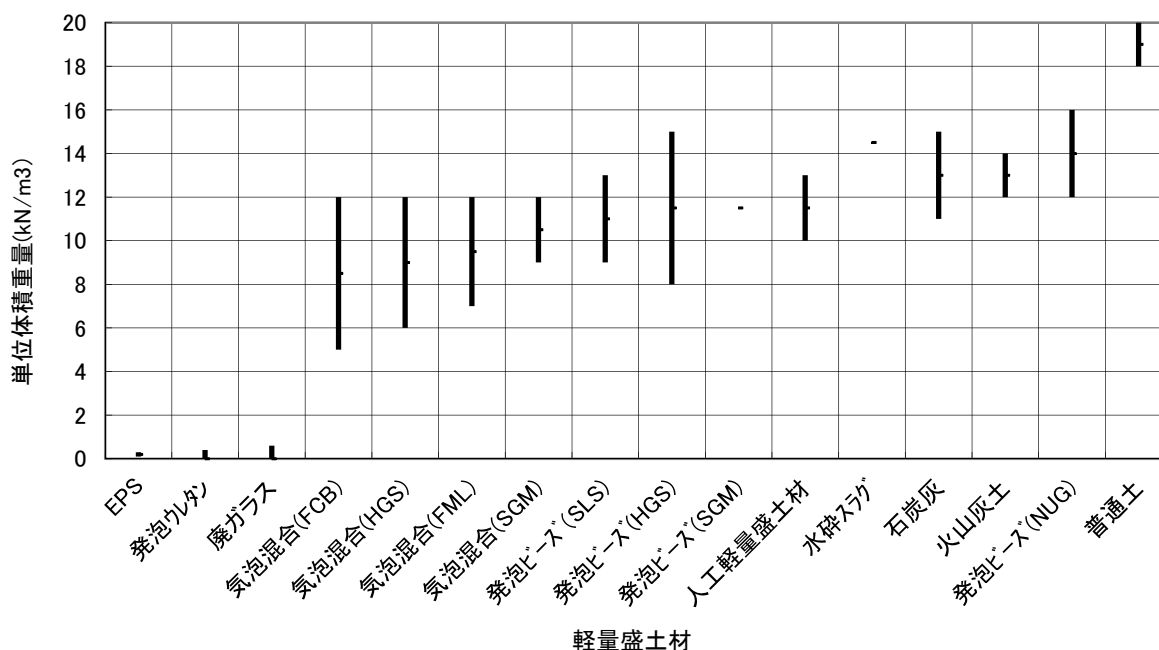


図-1 軽量盛土材の湿潤密度

図-1より軽量盛土材は湿潤密度により次の3グループに大別できることがわかる。

- ① 超軽量盛土材：湿潤密度が $0.16 \sim 0.4 \text{ kN/m}^3$ と非常に軽量の盛土材で、EPS、発泡ウレタン等が該当する。(浮力の検討が必要な盛土材)。
- ② 軽量盛土材：湿潤密度が $4.0 \sim 15 \text{ kN/m}^3$ と軽量の盛土材(水よりも軽量なものから重いものまで)で、気泡混合軽量土、発泡ビーズ混合軽量土等が該当する。(浮力の検討が必要になる場合もある盛土材)。
- ③ 準軽量盛土材：湿潤密度は普通土よりは軽量であるが、水よりも重い盛土材で、人工軽量盛土材、水砕スラグ、石炭灰、火山灰土等が該当する。(浮力の検討が必要でない盛土材)。

お問合せは下記まで

REECOM 株式会社 補強土エンジニアリング

〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目6番6号(カーニープレイス西本町6F)

TEL(06)6536-6711 FAX(06)6536-6713

インターネットホームページ：<https://www.reecom.co.jp>

Eメール：info@reecom.co.jp